

第3回 学長定例記者会見 資料5

男女共同参画推進室主催

第4回 国際シンポジウム

Women in Science and Education – Gender, Risk Management, and Resiliency

日時：2013年12月5日（木）13時30分～17時

場所：滝川記念学術交流会館 大会議室

男女共同参画推進室は、2011年度の国際シンポジウムより、ジェンダー平等を優先課題として掲げているユネスコのご協力を得て、男女共同参画社会の構築を目指した議論を重ねてきました。

昨年度はユネスコ事務局長 イリナ・ボコバ氏を招へいし、女性が科学において果たす役割の重要性、およびユネスコが取り組む女性の研究者支援について基調講演をいただきました。

本年度は問題を絞り、サニエ・ギルセル・コラット ユネスコ男女共同参画部長に来学いただき、「ジェンダーと減災」をテーマにシンポジウムを開催します。阪神淡路大震災、東日本大震災を経て、私たちは災害時にはジェンダー格差がより大きくなり、それが復興の妨げの一つになることを経験してきました。たとえば、避難所で子供の世話がし難いため、子供たちへの心のケアが遅れる、食事当番は被災女性がボランティアで行って当然と思われ、女性は復興支援のために設定された仕事につき難い、真っ先に解雇されるのは女性パート職である、などの問題です。

神戸大学は阪神淡路大震災の被災大学であり、減災にかかわる研究は大学として取り組むべきテーマであり、使命であると考えています。ジェンダーの視点から災害に強い地域共同体を構築する研究をより一層、進めるため、このシンポジウムではユネスコの男女共同参画部長コラット氏より、災害に強い地域共同体を作るために検討されるべきジェンダー視点について、ユネスコの考えをお話しいたします。さらに、タイのタマサート大学教授ミータンシリポン氏には、タイと日本の研究者が進めている危機管理に関するプロジェクトの成果について、山形大学教授上山真知子氏には、東日本大震災直後の子供の状況とケアの必要性についてお話しいたします。

シンポジウムに合わせて、コラットユネスコ男女共同参画部長と学生の対話集会も予定しています。報道関係の皆さまからの質問時間も設定いたしますのでこちらもご出席下されば幸いです。

サニエ・ギルセル・コラット氏 ユネスコ男女共同参画部長



ユネスコ事務局長付男女共同参画担当部長。2004年9月～ ユネスコ

《ユネスコ以前の職歴》

カナダ国際開発庁、世界銀行、UNDP、UNCTAD、

《学歴》

アメリカン女子大学・ロバート大学（トルコ・イスタンブール）卒業

ボスボラス大学（トルコ・イスタンブール） BA 取得

ヨーロッパ大学（ベルギー・ブリュージュ） MA 取得

カールトン大学ノーマン・ピーターソン国際関係研究科（カナダ・オタワ） MA 取得